

令和 7 年(2025 年)3 月 18 日
一般社団法人日本トンネル技術協会

JTA 表彰(令和 7 年度表彰)の受賞者(功績賞)を決定しましたのでお知らせします。

一般社団法人日本トンネル技術協会(会長 菊川 滋)は、令和 3 年度から、トンネル技術や本会の発展に特別の功績、功労があった方々(個人、団体)を表彰しています。

今般、令和 7 年度表彰の受賞者を以下のとおり決定しました。

受賞者は、令和 7 年 6 月 9 日(月)に開催する本会定時総会(会場:都市センターホテル)において表彰します。

功績賞 1 名

(敬称略)

大島 洋志

長年の実務経験に基づき取得した山岳トンネル分野の地質工学的経験知をトンネル専門誌や書籍に公表するとともに、数多くのトンネル建設関連の技術委員会に参加して、難航するトンネルプロジェクトの円滑な完成に寄与することで、トンネル工学分野の発展に貢献した功績

- ・山岳トンネルを主対象として氏が地質工学的分野で約50年に渡り、歴史と経験に学び獲得した実務経験を通して得た経験知を、組織内に留めず、JTA はもとより関連学協会に継続的に書籍や論文の発表・講演、大学での講義を通じて公表・普及させ、トンネル工学分野の技術発展に貢献した。
- ・九州新幹線をはじめとする鉄道トンネルに関わる路線選定に関わるとともに、筑紫トンネルなど数多くの重要・難航トンネルで、設計施工に関わる委員会を通じて、トンネル地質の数少ない地質の専門家として、氏の経験知を披瀝し、その無事完成に貢献した。そのほか、安房トンネルなど道路トンネル関係の多くの委員会でも、同様に、その推進とプロジェクトの完成に多くの貢献をした。
- ・JTA 機関誌「トンネルと地下」の発行に雑誌創刊の頃から今日に至るまで委員として長年関わり続け、トンネル技術の発展に貢献した。

功労賞 応募なし

《制度の概要》

一般社団法人日本トンネル技術協会(会長 菊川 滋)では、令和元年度に策定した「JTA ビジョン」を踏まえ、令和 3 年度に「表彰制度」を設け、トンネル技術の発展に特に顕著な功績があったと認められる会員等に「功績賞」を、また本会の発展に特別の功労のあった会員等に「功労賞」を授与しています。

《選考の経緯》

令和 6 年 11 月 13 日から令和 7 年 1 月 31 日までの期間、令和 7 年度表彰の推薦を受け付けたところ、功績賞 1 件の推薦がありました。なお、功労賞に関する推薦はありませんでした。

推薦内容に関して、本会理事会で慎重に選考を行った結果、今般、功績賞 1 名の受賞者を決定しました。

【問合せ先】

〒104-0045 東京都中央区築地 2-11-26 築地 MK ビル 6 階

一般社団法人日本トンネル技術協会 表彰事務局(時政)

TEL:03-3524-1755 FAX:03-5148-3655 Email:hyosyo@japan-tunnel.org